

ゆうあい

がんばっていきまっしょ熊本

6. 7月の出来事

6月 8日 作業日 生活
介護2名、就労B 20名

22日 作業日 生活
介護2名、就労B 21名

7月13日 カラオケ

27日 作業日 生活
介護2名、就労B 19名

生活介護の様子

フルーツキャップ折り返し、体づくり、
手話で音楽、うちわ作りを行いました。

就労継続支援B型の様子

インターナショナルミカさん（フルーツキャップ W-11）、さ
かき印刷さん（味噌蓋シール貼り）、釜屋さん（各種ごま封入、各種シール貼り、すべす
ヴェーダ封入）、チューインさん（各種紙袋
成形、封入作業作成等）、お菓子の香梅さん
（武者がえし、姫ナイフ、陣冷）、より作業
を受注しました。

自主製品は、熊本第一高校様より受注しま
した。

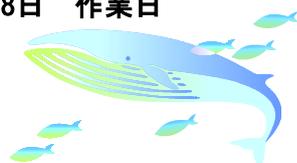
8. 9月の予定

8月10日 作業日

24日 作業日

9月14日 行事（詳細は後日）

28日 作業日



最近の曲班



7月は鉄板行事のカラオケを行いました。場所は、いつも
お世話になっているカラオケCLUBDAM熊本清水バイパス店
を利用しました。

今回も4班に分かれてカラオケを楽しみました。昭和歌謡
曲班、最近の曲班、女子会班、アニメ班の4班に班分けをしま
した。それぞれの班で個性があり、また知っている曲が多い
事で、大変な盛り上がりでした。今回も大好評で無事に終え
まして、2時間はあっという間でした。大好評につき、今年度
中に第2弾のカラオケを実施したいと思います。

次回は残念ながら(笑)カラオケではあ
りませんが、お楽しみにしていただけたら
と思います。

振替

女子会班



昭和歌謡班



アニメ班



＊村さんが主張する…

くれぐれも気をつけて



若い人には関係ないようなお話ですが。私が最近思った事のお話です。

高齢者が運転していた、アクセルとブレーキの“踏み間違い”により起こった事故。なぜ、高齢者は踏み間違いをしてしまうのか？ペダルの踏み間違いによる事故は、高齢の方が特別に多いというわけではなく、20代の方も多いとの事。しかし、死亡事故は60代を超えると一気に多くなるそうです。これは、高齢者が踏み間違いに気付くのが遅いことが要因として考えられ、若者は、ブレーキと間違えてアクセルを踏んでスピードが出てしまっても「あ、これ違う」とすぐに気づいて、それを修正できる反射神経がまだあります。しかし高齢者はそれが鈍ってしまい、ブレーキを踏んでいるつもりなのにスピードが出てしまった時に、間違いに気付かず「え？」と知っている間にもどんどん車が進んでしまう。そしてパニックになり、事故につながるということです。<踏み間違いは“ひねり動作”時に起こる！>

駐停車時や合流などで行う後方確認時。料金所や

精算機に窓から手を伸ばす時など上半身をひねった時、若い方は足が身体についていくことなく、ブレーキペダルに残ったままになります。しかし、もちろん個人差はありますが、高齢者の方は上半身を右に曲げると、足も一緒に右方向へ移動してしまう傾向があります。これは若い方に比べ、股関節が硬くなるから起こるそうです。さらに足元の感覚が鈍くなることで、頭の中ではブレーキペダルだと思っているのに、実際にはアクセルペダルだった…という事が起きうることです。

<“踏み間違い”を防ぐには>

- ・股を閉じ、内股になるよう意識し、足先が進行方向を向くように座る
 - ・体の中心に右足が寄るように、しっかりと座る
 - ・椅子に深く座り背筋を伸ばす、肘や膝に余裕をもたせるなど、正しい乗車姿勢を再確認する。ガニ股に座ると自然と足先が開いてしまうので、それを予防するためにも若干内股を意識することが大事。
- …と自覚しなければいけないと思います。

ただ、まだ私には関係ないと思っていたのですが、先日信号待ちの時に後から追突され、その一瞬でパニックとなり、車間距離が開いていたにも関わらず、衝撃でブレーキを踏んだ足が緩んだのか、意識が飛んだのか、あっという間に前の車にぶつかってしまいました。車の修理に2ヶ月程かかり、不自由な日々を過ごしていましたが、その一瞬は自分がどのペダルを踏んでいたのかも覚えていません。高齢者の域に片足突っ込んでいるのかもしれない。しかし最近はこれまで以上に安全確認や運転を心掛けるようになったのは確かです。

免許証返納の時期もいずれ訪れますが、きっと自分の意識感覚よりもっと前に決断が必要なのでしょう。

職員異動

募集していただいた調理員に、吉田佐代さんが採用され、六月十三日から調理員として働き始めました。よろしくお願いします。

御礼

今年の夏も、沢山お楽しみください。

次期シーズンも、協力をお願いします。

職員一行月記 「私事で恐縮です」



- 昔ハムスターをかっていました。【チャッピー】
- 問題山積み！乗り越えなきゃいけない試験。【北】
- 暑さを乗りきって頑張るぞ！【ランド】
- 体調が季節についていけない。(^_^) 【かねふく】
- 経験値が超絶UP中！！【にゃんこ】
- 引き締まった体を目指して絶賛筋トレ中!!! 【K】
- 前屈がままならず。【*】
- 睡眠大事～!!! 快適睡眠いずこ…。【レパー】



坂本がざれごとをつれづれと

「戯れ言徒然」

第一五五言

復興祈願



初めの1字は次の子へ
先日、母方の祖母の十三回忌法要に行ってきました。祖母の仏前にて、ふと振り返って自らの名前の由来について思い出したので、その時思ったお話を。改めて紹介しますと私の名前「政治」と書いて「マサハル」と読みます。我が家は聞くとこのよると、祖先は猟師と小作で生計を立てていたとのことです。私の四代前が「政」に「マサイチ」、三代前が「政」に「マサフジ」、祖父が「政清」(マサキヨ)、父が「政穂」と書いて「マサホ」です。最初に生まれた男子は「政」を受け継いできています(ちなみに、政治家はただ一人出ていません)。さてこの流れ、貴方だったら替える勇気がありますか？私にはとうてい無く息子に「政」をつけてしまいました。私が生まれた頃は、今のよう

に生まれる前に性別が解るなんてことは無く、おそろく父は、男なら「政〇」女なら「△△」などと悩んでいたことでしょう。そこで私の名前の候補としてあがったのが「政五郎」。理由は「政のつく5番目の長男だから」という理由。安易、なんと安易な付け方でしょう。【昔話風に】今は昔、五四年ほど前の昭和40年。母の叔父、祖母の兄宅を訪れた父は、大祖父と名付けについて話をしたそう。父「政五郎」てつけますバイという父に、大祖父が進言したそうじゃ。「政治」と書いて「マサハル」と読んでどぎやんかのー(あつぱれ、大叔父様)。すぐに気に入った父は、無事生まれた子に「政」の1字を次がせ「マサハル」と名付けたそう。めでたしめでたし。

しかしこの話を今思い出すと、自分が政五郎だったなら人生変わっていたのかなと思う今日この頃です。